

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 204 号	氏名	林 洋子
学 位 審 査 委 員		主 査	田 口 尚
		副 査	森 望
		副 査	兼松隆之
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 老化抑制モデルとしてのカロリー制限ラットと growth hormone (GH)-insulin-like-growth factor1 (IGF-1)抑制ラットにおける、グルコース刺激時のインスリンシグナル系の反応の類似性を検討しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 アンチセンス GH 導入遺伝子ヘテロ接合ラットと 30%カロリー制限をした Wistar ラットにグルコース投与 15 分後におけるリン酸化 insulin receptor, リン酸化 Akt および FoxO1 の DNA 結合活性を対照との比較において解析したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、カロリー制限ではグルコース刺激時のインスリンシグナル系の活性化を抑制させることを示し、GH 抑制ラットとの反応の類似性を明らかにした。カロリー制限の老化抑制機構に新知見を加えたものであり、今後の老化とその抑制に関する研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は老化機序の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			